

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

| | | |
|-----------|---|--|
| 1 施設名 | 仙台市サンホーム | |
| 2 指定管理者 | 特定非営利活動法人グループゆう | |
| 3 指定期間 | 令和3年4月1日～令和8年3月31日 | |
| 4 施設の利用状況 | 《利用者数》 令和5年度 2,398人(前年度比77.0%) 令和4年度 3,116人(前年度比114.8%) 令和3年度 2,715人(前年度比115.2%) | |
| | 《事業》 児童発達支援事業 | |
| 5 収支の状況 | 《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 75,418千円 (69,482千円) ・ その他市が負担した費用 692千円 (196千円) | |
| | 《収入》 ・ 使用料収入 31,285千円 (39,442千円) ・ その他収入 0千円 (0千円) | |
| 6 利用者の声 | 《実施状況》 令和5年12月～令和6年1月、指定管理者の協力のもと、障害者支援課で利用者アンケートを実施した。 | |

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

| 評価分野 | 所見 | 評価 |
|----------------|---|-------|
| I 総則 | 施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営に当たっている。 利用者個々の特性に寄り添った療育を工夫して行っている。 近隣の子育て支援機関と連携し、地域支援の充実にも積極的に取り組んでいる。 | 42/42 |
| II 施設の運営管理体制 | 事業計画に基づいた運営がなされている。 法人全体で毎年度当初に研修を行うなど個人情報保護の取り組みを推進している。 各種マニュアルの整備や、利用者の安全に配慮した運営に努めている。 | 24/24 |
| III 施設・設備の維持管理 | 施設・設備は適正に管理されており、利用者が快適かつ安全に利用できる環境整備に努めている。 使用後は速やかに消灯、空調設備を切るようにするなど、環境に配慮した取り組みを積極的に行っている。 | 24/24 |
| IV サービスの質の向上 | サービス水準を確保するため、定期的なミーティングや職員会議・研修等により情報共有に努めているほか、新人育成においては、メンター制度を導入するなど、人材育成にも力を入れており、職員全体でサービス水準の向上を目指している。 保護者勉強会の実施にあたっては動画の録画を導入することで、利用者に公平に勉強会の機会を提供できるようにするなど、きめ細かいサービスを届けるための工夫が見られる。 また、地域の保護者や子育て機関からの相談対応についても、相談者が気軽に相談しやすいよう、一定の曜日に相談窓口を設定し、相談員がいつでも電話を受けられるよう体制を整えている。 | 27/27 |
| V 施設固有の基準 | 個別支援計画を詳細に作成し、要医療的ケア児の支援にあたっては専門機関と連携するなど、利用者個々の特性に応じた支援の提供を心掛けている。 指定児童発達支援事業所としての基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。 | 4/4 |

三 評価総括

| 《指定管理者（特定非営利活動法人グループゆう）による自己評価》 |
|---|
| <p>【療育内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児発管が中心となるプログラムの作成案会議を充実させ、多角的な視点や経験則を組み込んだチームアプローチを重視した支援の組み立てを心掛けた。 ・複雑・多様化する家族ニーズの実情に即した療育の保障の必要性から単独通園に移行し、さらに保護者の心理相談を組み合わせることで家族支援を充実させたほか、きょうだい児の支援にも取り組んだ。 ・従来行ってきた各種講話に加え、令和5年度からは市内センター共通の講話等10種を企画実施した。 ・安全な療育の保障に関する研修に加え、前年度の療育上の課題を踏まえた研修を追加で実施したほか、初任者研修も立ち上げた。 ・要医ケア児の状態像の的確な把握等のため県立こども病院等の他機関と積極的に連携し、配慮事項等について職員全体で共有した。 <p>【地域支援】</p> <p>1. 仙台市からの委託業務 卒後フォロー訪問を実施し、他児の相談や施設支援の相談に対応した。ブロック活動として初期プロ・ペアプロを実施したほか、その啓発を目的とした幼保研修も企画した。</p> <p>2. サンホームの地域支援業務 サンホーム内では、在園児対象に、進路についての説明や保育所見学の同行等を実施。また、地域子育て支援センター等との共催事業として、各種サロン、講話等を実施した。新たな工夫として、在園児保護者勉強会の地域参加枠を設定し、より多くの地域の保護者や支援者に療育の情報やスキルを提供したことで、地域の施設における支援力の向上やネットワーク構築にもつながった。</p> <p>3. 地域からの依頼による講話やカンファレンスの充実 併設児童館との定期的なカンファレンスが軌道に乗り、未就園児向けの行事や協働企画を実現できた。</p> |

| 《施設設置者（仙台市）による評価》 | 総合評価 |
|---|------|
| <p>令和5年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>児童の障害特性に応じた療育を工夫して行っており、同法人で成人施設を運営している経験を生かし、子どもの将来を見据えた支援の提供に努めている。保護者勉強会を定期的に開催し、児童の進路についても相談しやすい体制を整えるなど、家族支援の充実に取り組んでいる。</p> <p>また、卒園児の進路先に訪問し、進路先の職員と情報共有を行ったり、合築の児童館のほか、近隣の子育て支援センターなど、地域の施設との交流・連携促進を図り、地域の療育機関としての役割を果たすための取り組みを積極的に行っている。</p> <p>以上により、利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。</p> | S |

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

| 特記事項 |
|------|
| |

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局障害福祉部障害者支援課